



視察レポート①

生涯活躍のまちの
実現に向けた取組

(鳥取県西伯郡南部町)

南部町の概要

- H16.10.1 旧会見町・旧西伯町の2町合併
- 面積：114.03 km²
- 人口：12,272人 (H17) ⇒ 11,090人 (H29)
- 高齢化率：約35%

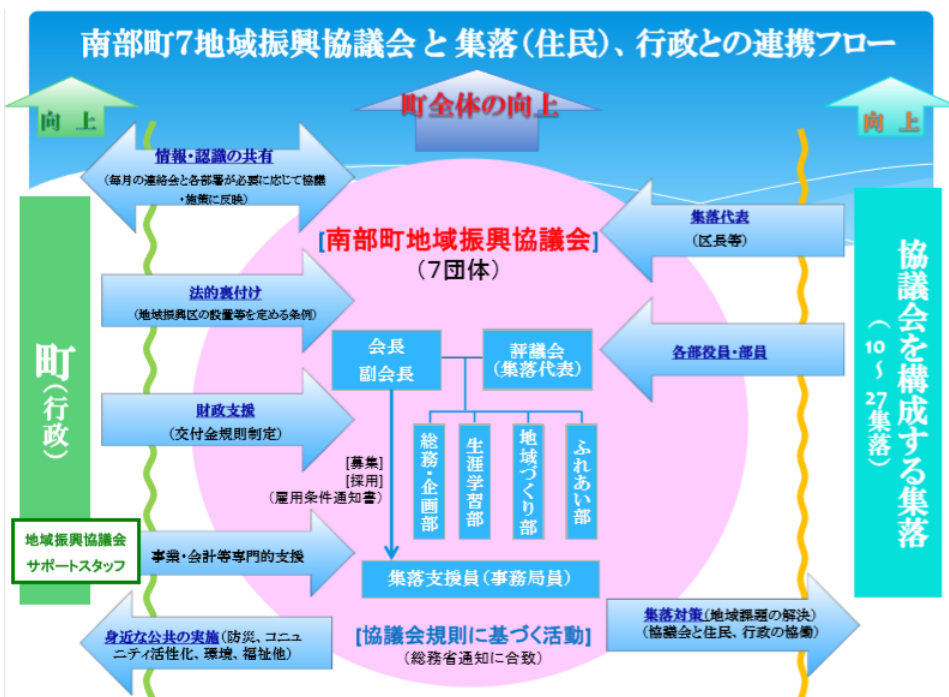
※社会増減は横ばいで転出者数が鈍化傾向

- 充実した医療・福祉環境 人口1万人当たりの病床数 174.1床 (全国平均142床)

- H27.12に環境省の重要里地里山に町全域が指定 (全域指定は西日本で唯一)

※農林業を通じた農村環境の保全が全町的に進められている。里地里山に特徴的な種が数多く見られる。

地域振興協議会



- 会長・副会長 (地域選出)

※非常勤職員 3年任期

- 事務局員 (地元採用 2名)

- 活動分野

生活安全の確保

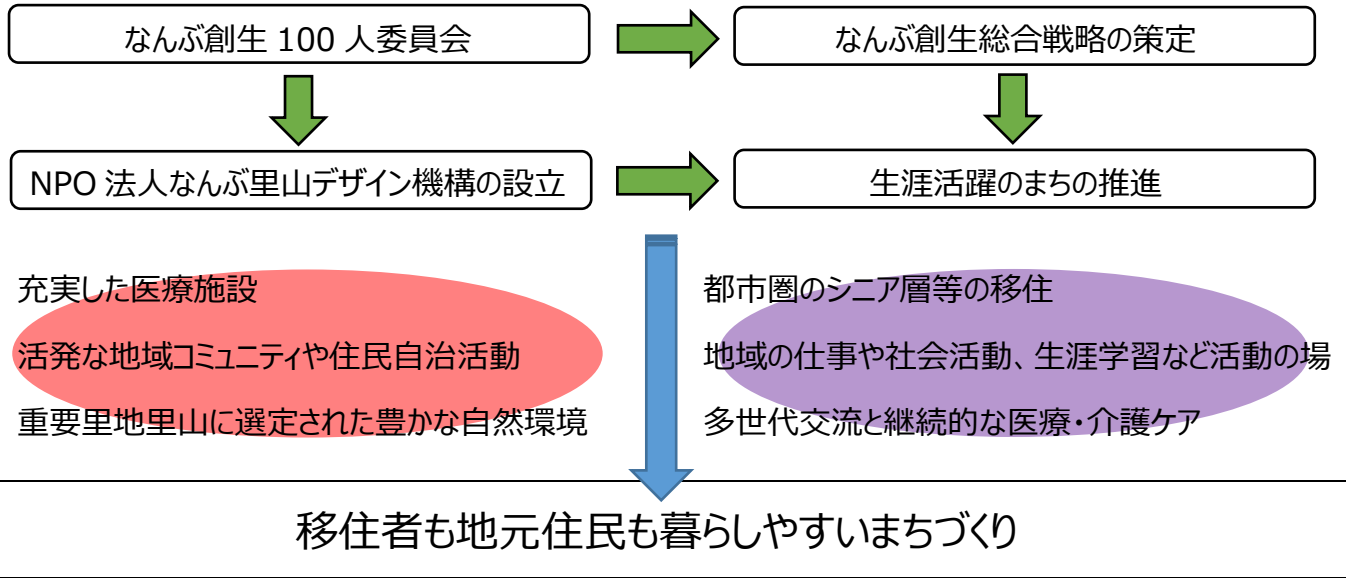
文化・学習・スポーツ活動

生活環境と産業振興

健康管理・増進と福祉の向上

生涯活躍のまち構想策定の背景

- 人口減少が続いており後継者が不足、農地や伝統行事の維持が困難に
- 人口の減少による空き家家屋の増加、老朽危険家屋化
- 高齢人口の割合が高く、要介護者等の増加により医療・介護の質が保てない

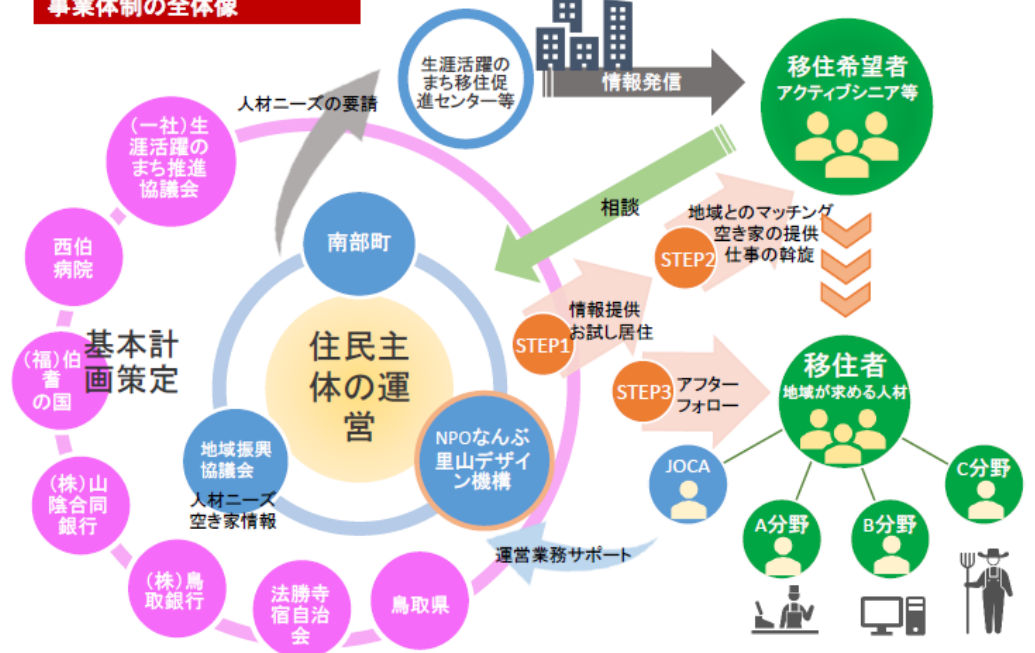


生涯活躍のまち実現に向けて

3つの基本方針

- 運営主体はまちづくり会社等に
- 住居は空き家の利活用を軸に
- 地域が必要とする人材の誘致

事業体制の全体像



数値目標

南部町への転入数：平成 27 年度比較で累計 200 人増

空き家を活用した移住者向け賃貸住宅提供数：平成 32 年度末で 35 軒

生涯活躍のまちの全体スケジュール（計画期間）

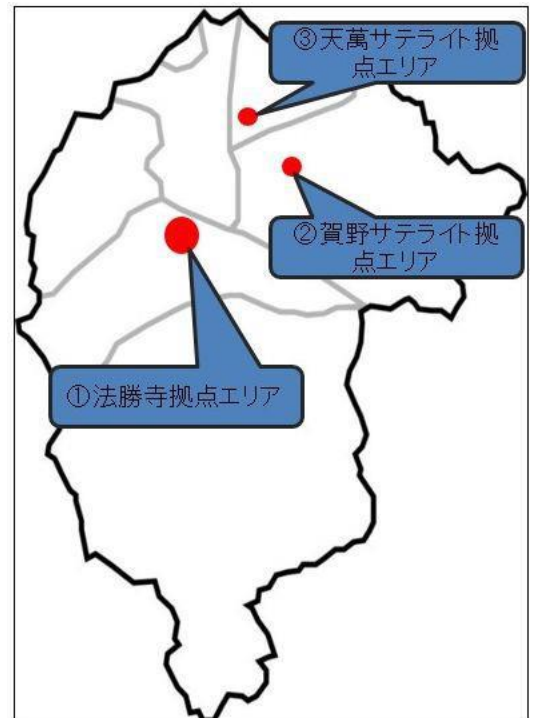
項目	H27	H28	H29	H30	H31
計画策定	モデルプラン策定	基本計画策定			
人材確保（都市圏）		生涯活躍のまち移住促進センターでの営業活動			
まちづくり会社	NPO設立		会社検討	運営	
住まいの確保	空き家調査	NPOによる空き家の改修・提供			
拠点整備		機能の検討	設計	建設工事	
医療・介護体制整備			サテライト拠点		
			検討、順次体制整備		

拠点整備の取組

- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを実現する手段
 - 地域振興協議会を単位に拠点整備を目指す
 - 地域内のサービス提供と先駆的な取組により地域をリードする
- 生活サービスの拠点としての役割を果たしていく

拠点エリア（法勝寺地区）

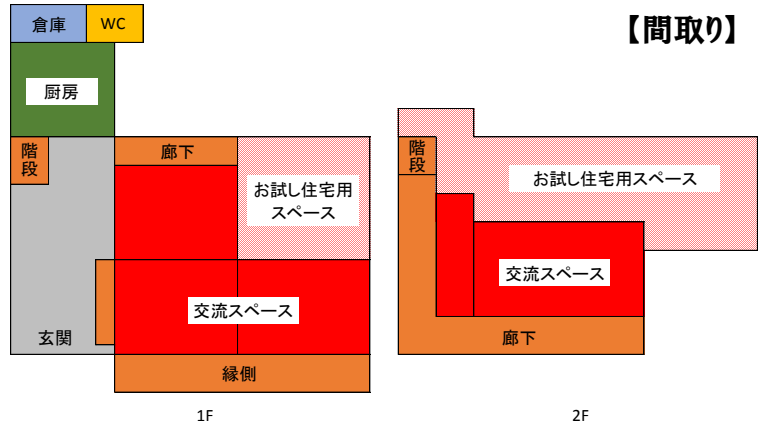
町の中心部に位置し、施設や交通が集中する地区。民間事業者が運営する多世代交流型の地域交流拠点施設や連動する複合施設を計画。H29.4からお試し住宅「えん処 米や」を運営開始



「えん処 米や」

住前のお試し居住等のサービス提供を行うとともに、移住者や地域住民の交流の場、生涯学習の場、起業家支援の場等、多目的な交流拠点として活用

NPO なんぶ里山デザイン機構が管理・運営



【「えん処 米や」の外観】



【交流スペース】

民間事業者による地域交流拠点

旧法勝寺高校跡地に民間事業者による地域交流拠点を整備。お試し住宅と隣接し、利用者が地域交流拠点施設を利用することで移住・定住への可能性を高める。多様な世代・住民が関わり合える仕掛けを組み込むことで交流人口を拡大させながら生涯活躍のまちに取組む。

○シェア金沢方式（ごちゃまぜのコミュニティ）

- 天然温泉を活用した健康増進機能
- 地域密着型ウェルネス
- 地域交流スペース（レストラン等）
- 高齢者福祉サービス
- 障がい者サービス
- 多目的スペース（なんぶ里山デザイン大学の講座活用等）

複合施設の新規整備

老朽化した公民館「さいはく分館（S48 築）」に代わる新たな複合施設の整備を計画。

隣接の図書館（H2 築）と併用し、機能充実を図るとともに効率化を図る。

複合施設整備検討委員会により方向性や条件等を検討

○複合施設整備の目的

- さいはく分館の老朽化や図書館とともにバリアフリー未対応施設、社会教育ニーズへの対応
- 交通の結節点としての機能維持・拡充、バス通学の小学生がバスを待つ場所
- 多世代交流拠点としての役割・拠点、住民や移住者が活躍する場
- 公民館機能を図書館も併用しながら機能充実を図るため、小学校に隣接した現在の位置に整備
- 補強・改修では利用者ニーズや交流拠点としての役割に応えることができないと想定、建替えによる整備

サテライト拠点の整備

▶ 賀野地区サテライト拠点 ◀

農産物等の
加工・販売機能

農協の撤退でなく
なった買物施設機能

住民の集う
サロン機能

移住者との
交流や起業



既存の農産物加工施設「えぷろん」を増改築

- 地元住民・移住者が交流できる多目的スペース
- 生活必需品を購入できる物販機能
- 子どもが利用する学習スペース
- 地元食材を使ったパン屋・カフェ機能
- 指定管理先の事務所機能

▶ 手間地区サテライト拠点 ◀

H28.8 に JASCA（一般社団法人全国学生連携機構）の学生が賑わい創出を目的としたフィールドワークを実施

空き家を活用し、地域の人や移住者が集い、地域内外の交流人口を増やすための拠点が必要

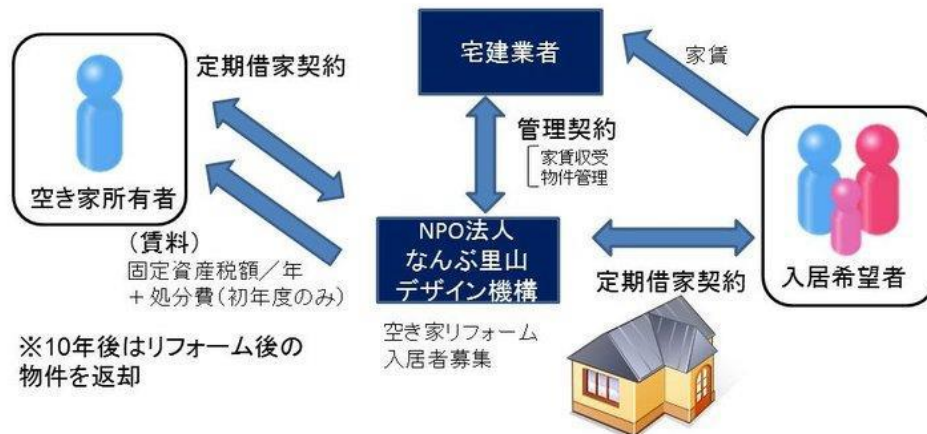


よそ者・若者の意見を参考にしつつ、サテライト拠点の整備と住民が拠点の運営に参加する仕組みを検討
ゲストハウスにしてはという意見がでている

住環境整備の取組

■ 空き家を活用した分散型居住

NPO 法人なんぶ里山デザイン機構が空き家借り上げ事業を実施。最初の数年間は行政が空き家改修費等を補助し、その間に可能な限り賃貸する空き家を多数確保することで、早期に財政的自立を図る



医療・福祉の取組

■ 6～4 級ヘルパーなどの町独自のヘルパー制度、世代を越えてボランティア精神が根付く

■ 地域振興地区の集会所を拠点に、心身の状態や生活上の悩み等を相談できる「まちの保健室」を開設。

住民の生活の質を高め、健康の輪を広げるコミュニティへの再構築を目指し、まちの保健室の拡充によるプラットフォーム化（医療・介護・行政との連携強化、地域課題を地域住民と一緒に考えていく仕組みづくり）

■ 住民主体で仲間と一緒に介護予防、健康づくりを行う「通いの場」創出

■ 専門家によるヨガや気功法等、食生活環境へのアプローチとして薬膳、薬草（漢方茶）の普及促進

生涯活躍のまちの取組効果

■ 初年度の H28 年度は 36 人の転入超過、H29 は 14 人の転入超過

■ サテライト拠点でも移住者が検討委員会に加わり、良い方向に話しが進みつつある

法勝寺広域現況



法勝寺周辺整備



南部町 生涯活躍のまち構想の拠点整備計画

既存拠点施設の活用

交通ネットワーク整備

空き家の活用

サービス付高齢者住宅

さいはく分館建替え

町有地の活用



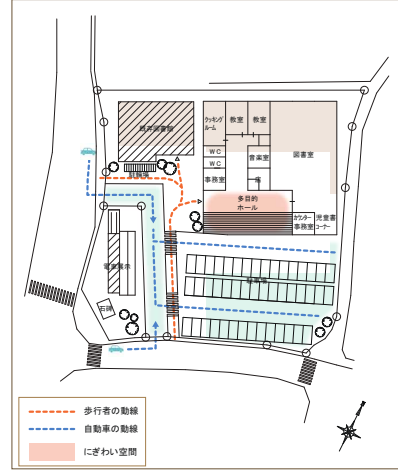
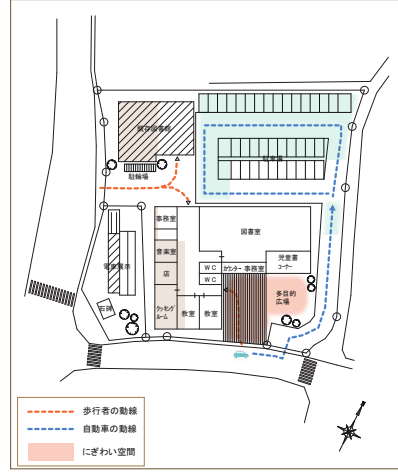
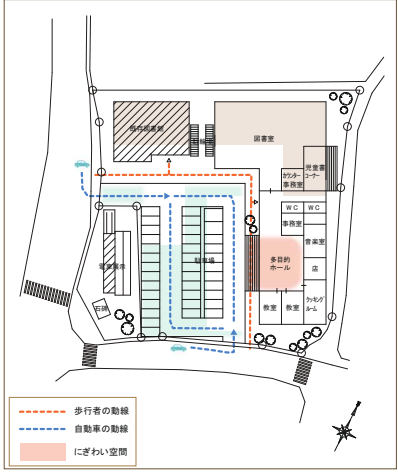
<①さいはく分館建替え>

南部町公民館さいはく分館の建て替えによるコミュニティ施設計画 動線計画と建物配置計画の検討

歩車分離で2方向からアプローチ可能なレイアウト

歩車分離で駐車場を建物で隠し 景観に配慮したレイアウト

歩車融合で2方向からアプローチ可能なレイアウト



① 駐車場西側配置案

敷地面積 約4000㎡
建物面積 約1296㎡ (図書館部分: 648㎡ 公民館部分: 648㎡)
駐車台数 約37台

良い点

- 歩行者、自動車共に南側道路と西側道路2か所からアプローチ可能である。
- 歩行者の動線と自動車の動線が交差することなく分離されている。
- 既存図書館と連続的に並ぶ建物配置を計画することができる。
- 電車展示の周りが駐車場や通路によってオープンとなり、展示の見通しがきく。
- 室内の多目的ホールと室外の通路を一体的に駆込み、空間として活用できる。

悪い点

- これ以上の駐車台数を確保すると残地が細長く使いづらい形状となる。
- 歩行者の動線と自動車の動線が常に並行して隣接する。
- 建物のメインエントランスが奥にあり、歩行者のアプローチ動線距離が長い。
- 施設から電車展示までオープンスペースがあり、建物の連続性がなくなる。
- 多目的ホールの開口部は西側となる。

多目的広場の利用例

- 駐車場と一体的に利用 (フリーマーケット、青空市、移動屋台販売など)
- 屋内での展示ギャラリー (写真、手作物品、アート作品、子供の絵画など)
- 屋内コンサート

② 駐車場北側配置案

敷地面積 約4000㎡
建物面積 約1026㎡ (図書館部分: 504㎡ 公民館部分: 522㎡)
駐車台数 約38台

良い点

- 歩行者の動線と自動車の動線が交差することなく完全に分離されている。
- 駐車場が北側のため主な道路となる南側の沿道に建物が配置される。
- 建物への歩行者のアプローチ動線距離が短い。
- 多目的広場が南側に配置されることで、明るいオープンスペースが確保できる。
- 施設内の動線が2か所ある歩行者の動線をつなげる配置となる。

悪い点

- 駐車場への自動車の出入り口が1か所に限られる。
- 駐車場までの自動車の動線を長く確保しなければならない。
- メインエントランスが現状になる。
- 室内で多目的に使えるホールがない。
- 電車展示が施設と連続的に配置されることで逆に見えにくくなる。

多目的広場の利用例

- 野外コンサート
- パズルラリー (地域の手作り市、青空市、アート作品など)

③ 駐車場南側配置案

敷地面積 約4000㎡
建物面積 約1152㎡ (図書館部分: 576㎡ 公民館部分: 576㎡)
駐車台数 約46台

良い点

- 歩行者、自動車共に南側道路と西側道路2か所からアプローチ可能である。
- 駐車台数を効率的に確保できる。
- 既存図書館と連続的に並ぶ建物配置を計画することができる。
- 電車展示の周りが駐車場や通路によってオープンとなり、展示の見通しがきく。
- 室内の多目的ホールと室外のテラスを一体的に駆込み、空間として活用できる。

悪い点

- 歩行者の動線と自動車の動線が駐車場で交差する部分がある。
- 駐車場内の自動車の動線はループ化されていない。
- 建物の各所室が北側に多くなってしまう。
- 道路からの沿道景観が駐車場になってしまふ。
- 施設から電車展示までオープンスペースがあり、建物の連続性がなくなる。

多目的広場の利用例

- 駐車場と一体的に利用 (フリーマーケット、青空市、移動屋台販売など)